S-PM2000

Pioneer

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
なお、「取扱説明書」は「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。

⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量は貴方の心がけ次第で大きくも小さくもなります。
とくに静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞などには特に気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉め、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

キャビネットのお手入れ

通常は、柔らかい布で乾拭きしてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、化学ぞうきん等をお使いの場合は化学ぞうきん等に付属の注意事項をよくお読みください。

本スピーカーシステムのキャビネットは、ウイスキーの熟成に使用したホワイトオークの樽材を再利用しています。この樽材は天然材を使用していますので、製品によりキャビネットの柄が異なります。また、本体にあるグリルネット取付用の穴の形状は、天然材の伸縮を考慮し、長円形に最適化しています。

ご使用の前に

❗ このスピーカーシステムの公称インピーダンスは、6Ω（オーム）です。負荷インピーダンスが 4〜16Ωのステレオアンプ（スピーカー出力端子に 4〜16Ωの表示があるもの）へ接続してお使いください。

- 同軸ユニットのトゥイーター（ドームトゥイーター）には強力な磁気回路を用いています。鉄などの磁性体を不用意に近づけないでください。振動板を破損する恐れがあります。

⚠ スピーカーを過大入力による破損から守るため下記の注意事項をお守りください。

- 許容入力以上の入力をいれない。
- 本機を含むAV機器をアンプへ接続するときはアンプの電源をOFFにする。
- グラフィックイコライザーで高音を大幅に増強する場合、音量を上げ過ぎない。
- 小出力アンプで無理に大きな音を出さない（アンプの高調波歪が増え、スピーカーを破損することがある）。

⚠ 注意

[設置]

- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- テレビ、オーディオ機器等に本機を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。

- 本機の上にテレビやオーディオ機器を乗せて移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。持ち運びは重いので2人以上で行ってください。

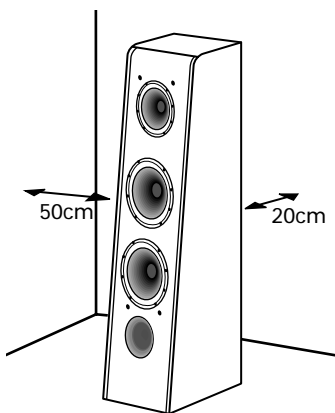
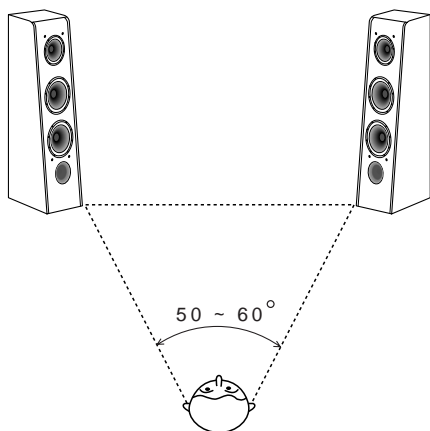
[使用方法]

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが 発熱し、火災の原因となることがあります。

- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。

- 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

設置について

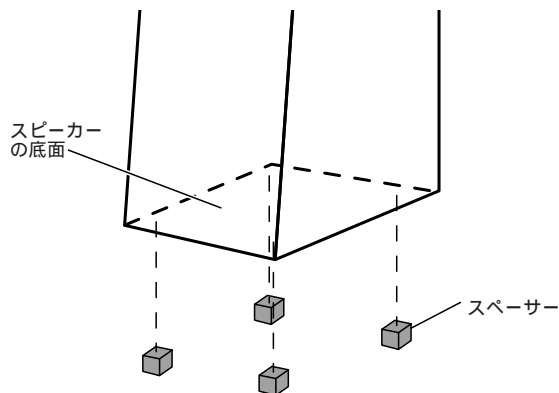
- スピーカーシステムの再生音は、リスニングルームの条件によって微妙に影響を受けやすいものです。設置する場所を考慮し、最適な状態でご使用ください。
- 転倒した場合、故障の原因となることがあります。
- このスピーカーシステムは、約25kgの重量がありますので設置場所は床面のしっかりした場所を選び、壁面からは、図に示す程度の距離を目安にして設置してください。
  後壁からの距離で低音の量感が調整できます。側壁からの距離で左右の音質差がないよう調整してください。

- 左右のスピーカーはリスニングポジションに対し等距離になるよう設置すると自然なステレオ感が得られます。スピーカーコードも同じ長さになるようにしてください。

- テレビ等の画面と組み合わせて、より良好な広がりのあるサウンドを実現するためには、テレビ等の画面を左右のスピーカーシステムの中央に設置し、左右のスピーカーシステムを聴取位置から約50°～60°の角度に設置するのが理想的な置き方です。
- 和室など壁が透過性の場合は、スピーカーシステム背面をできるだけ壁に近づけるか、反射性の物を背面に設置することをおすすめします。
- 洋間など壁面が反射または共振しやすい部屋では壁面にはカーテンで、また床面へはじゅうたんなどで処理することをおすすめします。カーテンは部屋の隅まで入れると音のこもりが少なくなります。またスピーカーの対向面が固い壁の場合も厚手のカーテンで処理をすると定在波の発生を防ぎ、良い結果が得られます。

⃠ 設置上の注意

- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くには設置しないでください。キャビネットの変形、変色およびスピーカーが故障する原因になります。
- スピーカーシステムは重いため、不安定な場所に設置するのは大変危険ですのでおやめください。

ウッドスペーサーの使いかた

このスピーカーシステムには、ウッドスペーサーが付属されています。毛足の長いじゅうたんの上などにスピーカーを置く場合、ウッドスペーサーを使用して安定した状態で設置できるようにしてください。またスペーサーは、取り付け位置や個数（3～4個）により、音質のチューニングが可能です。聴き比べてお好みの音質でお楽しみください。

■ スピーカーの底面の四隅にあたる位置にスペーサーを置き、その上にスピーカーを載せます。

ご注意

本機は約25kgの重量があるため、必ず2人以上で作業してください。

スピーカーコードについて

本機にはスピーカーコードが付属されていません。スピーカーコードは次の点に注意してお選びください。

① できるだけ太い芯線のものを使用し、必要以上に長くしないでください。

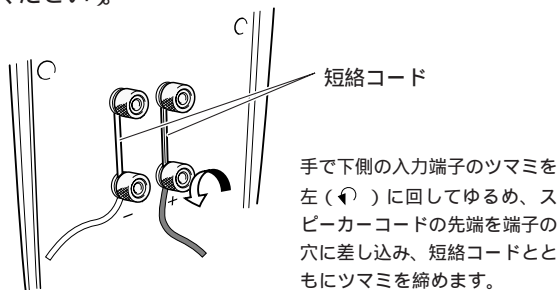
② 左右の長さが異なる場合は、長い方に合せて同じ長さにして使用してください。

③ 種類により固有の特性を持つものがあります。注意してご使用ください。

ステレオアンプとの接続

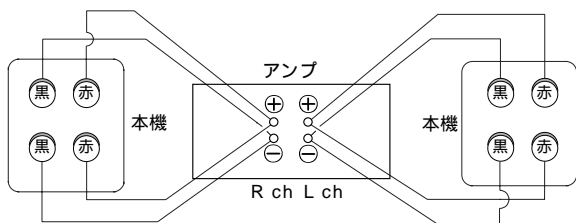
① ステレオアンプの電源スイッチを切ってください。(POWER OFF)

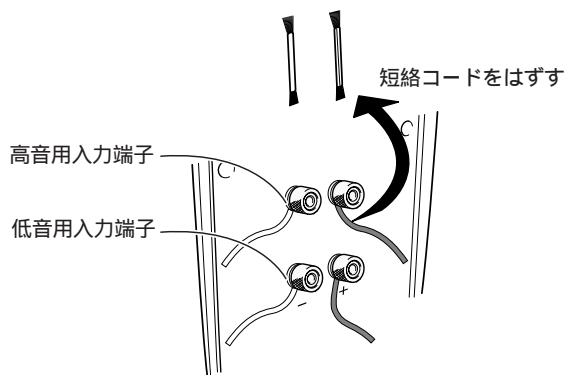
② スピーカーシステム裏側の入力端子(下側)へ、スピーカーコードを接続します。入力端子の極性は赤がプラス(＋)、黒がマイナス(－)です。

③ スピーカーコードをアンプのスピーカー出力端子につなぎます。(詳しくは、アンプの取扱説明書を参照してください)。

- **本機の入力端子はバナナプラグでの接続もできます。**
- 端子に接続した後スピーカーコードを軽く引いて、スピーカーコードの先端が端子へ確実に接続されていることを確かめてください。不完全な接続は、音がとぎれたり、雑音が出る原因となります。
- スピーカーコードの芯線がはみ出して、芯線どうしがふれたりするとステレオアンプに過大な負荷が加わって動作が停止したり、故障することがあります。
- ステレオアンプに接続したとき、片方（右または左）のスピーカーシステムの極性（＋、－）を間違って接続すると、正常なステレオ効果が得られなくなります。
- 接触抵抗ができるだけ小さくなるように、スピーカー端子とアンプへの接続はしっかり固定してください。

■バイワイヤリング接続の場合

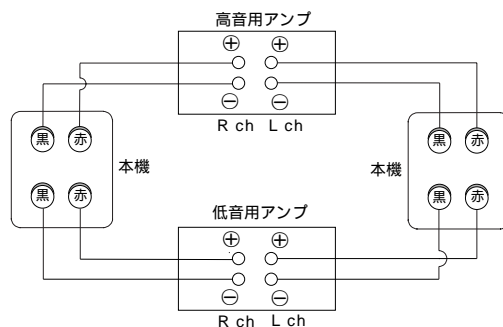
本機は、バイワイヤリング接続が可能です。

スピーカーコードは片チャンネルあたり低音用と高音用にそれぞれ 2 本ずつ必要です。低音用と高音用にそれぞれ異なったコードを使用し変化ある音色を楽しむこともできます。

入力端子のツマミを左側( )にまわしてゆるめ、短絡コードを取りはずしてください。この状態で低音用スピーカーと高音用スピーカーが完全に独立します。はずした短絡コードはなくさないように、大切に保管してください。

上側が高音用、下側が低音用です。それぞれの入力端子にスピーカーコードを差し込み、ツマミを締めます。

ご注意

この時、スピーカーコードの極性を逆に接続すると本機の音声が著しく損なわれることがありますので "ステレオアンプとの接続" の項を参照して正しく接続してください。また、同じチャンネルの低音専用コードと高音専用コードは、アンプの SPEAKERS 端子(＋、－を違えないように)と同じチャンネルの端子に接続してください。

■バイアンプ接続の場合

さらにグレードの高い接続法としてバイアンプ接続があります。バイワイヤリングの時と同様に入力端子板の短絡コードを完全にはずした状態で、低音用入力端子には低音専用アンプの出力を、高音用には高音専用アンプの出力を接続します。

仕様

形式 .... 位相反転式、フロアー型防磁設計(EIAJ)*
スピーカー構成 .... 16cm 3 ウェイ方式
　ウーファー .... 16cm コーン型 x 2
　ミッド .... 同軸13cm コーン型 x 1
公称インピーダンス .... 6 W
再生周波数帯域 .... 40～50,000 Hz
出力音圧レベル .... 91 dB/W(1m)
許容入力
　最大入力(EIAJ) .... 160 W
クロスオーバー周波数 .... 500 Hz、3.5 kHz
外形寸法...................... 240(幅) x 870(高) x 344(奥行) mm
質量 .... 25 kg (1個)
付属品 .... ウッドスペーサー x 4
取扱説明書 x 1
保証書 x 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内 x 1

- 上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- *「防磁設計（EIAJ）」とは（社）日本電子機械工業会（EIAJ）の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

保証とアフターサービス

保証期間中（一年間）、および保証期間経過後の修理については お買い上げの販売店または、お近くのパイオニアサービスステーションをご利用ください。所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。なお、ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年間です。性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

当社のホームページにピュアモルトシリーズのページを設け、全ラインアップの紹介や最新情報、お客様がご自由に意見交換できるBBS「PUREMALT CLUB」を開設しております。
http://www.pioneer.co.jp/puremalt/

出力音圧指向周波数特性／高調波歪率特性

グリルネットの着脱

このスピーカーシステムは前面のグリルネットを取りはずすことができます。グリルネットを着脱するときは、次のように行ってください。

1. はずすときはグリルネットの下側を両方の手で持ち、手前に軽く引っぱってグリルネットの下側をはずします。
2. 同じように、グリルネットの上側を手前に引っぱるとグリルネットは本体からはずれます。
3. 取り付けるときは、グリルネットの四隅にある突起部を本体の穴部に合わせて、押し込みます。

ご注意

- 本機は、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステムですが、設置のしかたによっては、色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15～30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーシステムをテレビからさらに離してご使用ください。
- 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色ムラを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

お客様ご相談窓口(全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

- 家庭用ｵｰﾃﾞｨｵ／ﾋﾞｼﾞｭｱﾙ製品のお問い合わせ窓口　フリーフォン 0070-800-8181-22
- カタログのご請求窓口　フリーフォン 0070-800-8181-33

＜ご注意＞
- ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。
- 修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

※ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内
http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html

この取扱説明書の印刷には植物性大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

パイオニア株式会社　〒 153-8654 東京都目黒区目黒１丁目４番１号

<TNOZF/00I00000>
<SRA1357-A>